平成29年度第2回対馬市総合教育会議会議録(概要)

1 開催日時

平成29年12月20日(水)午後4時~午後5時30分

2 開催場所

対馬市交流センター3階第3会議室

3 出席者

比田勝尚喜市長

吉野建實委員、佐伯康弘委員、一宮惠津子委員、齋藤豪委員 永留和博教育長

4 欠席者

なし

5 事務局

総務部総務課 有江総務部長、松井総務課長、木屋課長補佐 教育委員会事務局 須川教育部長、松尾教育次長、梅野課長補佐、 阿比留課長補佐

- 6 議題等
 - ・平成30年度の取り組みについて
- 7 会議の要旨

事務局 ただいまから平成29年度第2回対馬市総合教育会議を開催いたします。

開会にあたりまして、市長より挨拶を申し上げます。

市 長 どうも皆さん、こんにちは。本日は、委員の皆様には、年の瀬のお 忙しい中、総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとう ございます。

> また、日頃より、対馬市の教育行政につきまして、ご指導ご協力を 賜り、重ねてお礼申し上げます。

> さて、本年8月に開催いたしました対馬市子ども議会では、市内の中学校13校から26名の代表者の皆さんに子ども議員として参加をいただきました。傍聴席が満席の中、対馬の将来を担う中学生が、郷土のまちづくり関心を深め、子どもたちの目線、そして発想から対馬の将来像について議論し、その思いを共有することができたことを大変喜びとしているところでございます。

当日は、子ども議員が登壇し、様々な視点から提案や質問が行われました。その中には、スクールバスのジェットフォイル版「スクールジェット」の導入やふるさと納税、そして韓国人観光客の問題等タイムリーな質問や、私たち大人が考えつかないような提言もありまして、子どもたちの対馬を思う熱い心に大変感銘を受け、対馬市の未来を託すことができる若者がしっかりと育ってきていることを心強く

感じたところでございます。

また、平成27年度から博物館建設事業として準備しておりましたが、いよいよ本体の建設工事に着手するようになります。世代を問わず、自然、歴史、文化を楽しみながら体感し、共に学び、また、貴重な文化財を次世代に継承する対馬の歴史文化の情報発信の拠点施設として、平成32年度グランドオープンに向けて、今後事業展開を図ってまいります。

本年7月に第1回の総合教育会議を開催させていただいたところでございますけど、今回は平成30年度の取り組みといたしまして、教育委員の皆様と意見交換、そして協議をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局ありがとうございました。

これからは、着座のまま進めさせていただきたいと思います。それでは、早速、議題に入ります。

平成30年度の取り組みについてということで、教育委員会事務局 のほうから説明をお願いいたします。

教育委員会 それでは、教育委員会事務局より、本日は、来年度の大きな取り組み事業としまして、対馬市 I C T 教育システム・雞知中学校の増築計画について説明をさせていただきます。

【対馬市ICT教育システムの説明】 教育委員会 学校教育課 梅野課長補佐

【雞知中学校の増築計画の説明】 教育委員会 総務課 阿比留課長補佐

事務局ありがとうございました。

それでは、平成30年度の取り組みついて意見交換を行いたいと思います。よろしくお願いいたします。

委 員 対馬市 I C T 教育システムで使用するタブレットは、平成30年4 月からということですか。

教育委員会 平成30年度の予算に要求しておりまして、平成30年4月からの 導入は可能でございますが、4月1日となりますと、先生の異動等が あり準備が整わないと思いますので、5月1日からの予定を考えてお ります。

委員 ありがとうございます。

委員 先生方の研修はいつごろから行いますか。

教育委員会 研修につきましては、今年度からICT教育担当者会議を開催し、 1回は終了しております。今後は担当者の先生だけではなく、幅広く 全ての授業で使っていただこうと考えておりますので、全ての先生に 対しての研修を年度内に開催したいと思います。

委員 担当の先生の評判はどうですか。

教育委員会 賛否両論ございます。

先生より生徒の方がスキルが上だろうと言うことで、その辺の心配 が先生方にはあるみたいです。

これとは別に、東部中学校の中学2年生と先生全員で、現在、実証 実験のためのタブレットを貸し出しております。実証実験を1月から 3月まで使用していただいて、それぞれの利用実績、使い方等のデー タを集めて、それを4月からすぐ反映できるように考えております。

委員 運用になったときに、教育委員会で見せていただいたりとか、端末 を見せていただいたりとかは可能ですか。

教育委員会 どこか視察の場所を考えたほうがよろしいですね。実際に学校で使っているところとか、そこは検討させていただきたいと思います。

委員 ありがとうございました。

委員 雞知中学校の増築計画につきまして、年数がかなり経過しているので、できれば建替がいいとは思いますが、増築の図面を見て、一番気になるところが、陽当たりです。生徒が授業を受けますので、その点が気になります。

教育委員会 午前中は、陽があたると思います。

委員 冬場は寒いので、暖房ができるよう十分考えながら増築していかないといけないと思いまして。学習環境をきちんと守ることが一番大事ですので、その点が気になりました。意見です。

教育長 エアコンで対応するしかないと考えます。

斉藤委員 タブレット導入の件で、保護者への説明会は開催されますか。

教育委員会 学校を通して文書による通知を考えています。 試験運用しています東部中学校の保護者には文書で通知していま す。

委員 それも賛否両論があるんですか。

教育委員会 今のところはないです。

委員 集中管理は、業者の方で行うのですか。

教育委員会 教育委員会で管理するようにしています。

市 長 タブレットを導入するにあたり、現在、ドコモ等の電波がなかなか 届きにくい地域については、出来る限り区域を拡大してお願いしてお りますので、生徒が自宅でも使用できるようしていきます。

委員 リース契約はどのようにされますか。

教育委員会 現在、進めておりますのが、中学生が3年間ですので、できれば3年契約の形で考えています。対馬市の中学校に入れば、新しいタブレットが貸し出される環境を目指し、卒業するときに返却していただくように考えています。

委員 生徒が自宅に持ち帰ることを考えているわけですよね。

教育委員会 そのことを前提にシステムを考えていますが、このシステムは実績 がないので、自治体・学校が行うことは前例がないみたいですので、 対馬市がはじめて行うこととなると思います。

委員 中学校の生徒だけですよね。

教育委員会 いいえ、小学校にも最大学年の人数分を貸し出します。

委員 小学生は、自宅への持ち帰りはないんですよね。

教育委員会 持ち帰りまでは、考えていません。

教育長 タブレットを使用するシステムを構築したとしても、それをいかに 使いこなすか、そこが問題だと思いますので、教職員に対する研修の 充実が必要ではないかと思います。

委員 良い取り組みですね。今、社会に出ると絶対必要なものですから。

委員 タブレットを使用しながら何か事故に遭ったときが心配ですね。 しないとは思いますが、歩きスマホみたいなことなんですけど。

教育委員会 基本的に、歩きスマホの原因となっていますのは、ほとんどユーチューブ関係とかSNSなんです。それは最初から遮断する計画で考えております。

委員 ダウンロードできない状態にですか。

教育委員会 そうですね。また、アイコン自体を存在させないような制御をかけ ます。

委員 ゲーム類もですよね。

教育委員会 そうです。アプリケーションも各担当の先生から校長へ申請し、校 長から教育委員会へ申請していただきます。教育委員会で精査をして 行く形を考えています。

委員 タブレットが故障等をしたときは、代替機がありますか。

教育委員会 故障したときは、すぐに代替機を用意します。現在の計画では、教育委員会に数台のタブレットを置くようにしております。

また、タブレット自体に保険加入いたしますので、よほど故意に破壊しない限りは保険が適用されます。

教育長 10年後は、AIの発達で、現在の仕事が半分ぐらいになるかもしてないし、車も自動に。ただ、そういう世の中に子どもたちは対応していかないといけない。だから、小中学校の時から慣れておく必要があるので、対応していくのが大事だと思います。

事務局 ICT教育及び雞知中学校増築計画については、よろしいでしょうか。

続いて、その他でございます。特段、議題は設けておりませんので、 ご自由に意見交換をしていただければと思います。

委員 対馬学フォーラムに参加しました。今後の展望を市長さんにお聞か せ願えればと思います。

市 長 現在の小中学生、そして高校生が、対馬学フォーラムなどの発表の

場でのプレゼンテーションが、上手になってきました。これから先も ICT教育を活用し、もっといろんなことができていくと思っており ます。今後も対馬学フォーラムは継続して行きたいと思っています。

委員 私も対馬学フォーラムに参加していたんですが、子どもたちによる プレゼンテーションはすばらしかったと思います。今後も島おこし協 働隊や地域づくりコーディネーターの方々を活用して行けばと思い ます。

> また、島内の小中学校は、ふるさと学習をやっています。ふるさと 学習に取り組む生徒や児童を見ると、まじめに取り組んでいるのがわ かるので、将来も継続してほしいです。

- 委員 島おこし協働隊や教育コーディネーターなど、市で行っていますが、その活用の仕方や活動内容、事例発表などを定例校長会などで紹介するとかは、どうでしょうか。
- 市 長 学校の授業の中には、時々入っているみたいですけど、授業のカリキュラムに影響を与えるようなことはないと思います。ただ、家庭学習(寺子屋)で、いろんな専門分野の協働隊がお手伝いをしています。
- 委員 授業に来ていただくと、子どもたちの目の輝きが全然違います。 今のところ義務教育だけでふるさと学習を行っていますが、今後は 高校教育に、一般社会に、地域にというふうに広がっていけば、対馬 学フォーラムへ繋がると思っています。
- 委員 島外から来られる方とよく話をする機会があるんですけど、本当に 情熱を持って来てくれているのが、ひしひしと感じられます。

例えば、ヤマネコセンターの職員は3年間の期間契約で、3年後はまた更新ができればいいんですけどと言っており、希望を持って対馬に来て下さっているんだなあと思うと、できるだけ定着しやすい仕組み作りを進めていただきたい気持ちを持っています。

- 市 長 島おこし協働隊関係は、3年間が期限となっています。3年間活動を行ったあと、その地域に定着させる計画があり、創業支援の準備金等の経費が国の方から支給されるので、対馬の場合は、結構、定着率がいいみたいです。
- 委員 すごく頑張ってくれています。地域にも入ってくれてすごくいい方 が多いですね。

委員 もう、すっかり島の核になってくれていて。人と人を繋げる役割を してくれています。

委員 懇親会にも参加してくれたり、大事なことだと思うんですけども。

事務局 他にございませんでしょうか。

委員 市広報誌や新聞で見ると、人口がどうしても第一に目がいってしまいます。もうすぐ3万人をあと何年後に切るのかが気になっています。対馬市としては人口減少についての対策とか、具体的ではなくてかまわないので、どうゆうものがあるかお聞かせねがえればと思います。

市 長 人口減少対策は、どこの自治体も一生懸命しているところですが、 対馬市では、地元に就職する子には奨励金を用意しております。また、 U・Iターン等で来られる方の引っ越し費用や、こちらでの住宅支援 の補助等を行っています。

その他に結婚相談関係については、今までは商工会・社会福祉協議会・対馬市で三者三様で行っていたものを、まとめるようにしております。

事務局よろしいでしょうか。

これをもちまして、第2回対馬市総合教育会議を終了いたします。 お疲れ様でした。

対馬市ICT教育システム

近年、ICTを代表する端末である携帯電話やスマートフォンの発達、普及には目を 見張るものがあり、これらによりインターネット利用者の低年齢化が進む傾向にあり ます。

対馬市の児童生徒においても、そのほとんどがスマートフォン等の情報端末に興味を抱き体験しているものと思われます。

また、教育分野においても、タブレット等の情報端末は児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に有効なツールの一つであることは総務省や文部科学省においても実証されています。

たとえば、自分の意見と友達の意見を画面上で比較しながら思考を深めたり、自 分の考えを表現力豊かにプレゼンテーションしたりすることができます。

また、一人一台いつでもどこでもつながる情報端末を持つことで、興味・関心をもったことをすぐに調べて記録・整理したり、友達と共有したりすることが容易になり「学びの機動力」が高まります。

対馬市では、学校内の学習だけではなく、校外学習、家庭学習、修学旅行などにも幅広く活用できるシステムとして、また文房具のように身近に利用できるシステムとして児童生徒の育成に大きく貢献することを目指しています。

対馬市教育委員会 教育長 永留和博



シームレスなシステム



携带基地局



★問題解決により深くアプローチ

★知識や経験に発想力を加える

★個々の課題に応じた学び



小・中学校 調査・収集・記録・整理・比較 まとめ・発表(プレゼン)





校外学習 調査·取材





家庭学習 習熟活用

学校内の学習だけではなく、校外学習、家庭学習、修学旅行などにも幅広く活用できるシステムの 構築を目指します。

◇児童生徒のためのシステム提供

児童生徒が自ら課題を見つけ、課題に対して深く考え、調べ、発言、発信できるような環境を提供できるシステムづくり

◇全教科に対応できる端末の整備

写真などの画像、動画、音声などが簡単に利用できる端末を児童生徒が自ら操作し、インターネットや取材により調べ、考え、それを個人、グループ、学級単位で検討し、まとめ、発表することで児童 生徒の表現力を高めるシステムづくり

◇安全安心なネットワークの構築

児童生徒に有害となるサイト閲覧の遮断、ウイルス等の脅威からの保護、ギャンブルやショッピング等によるトラブル回避など、児童生徒が利用しやすい環境を構築

◇効率的な管理体制

すべての端末を一元管理することで、学校現場での教師に対する負担を軽減

利用できるアプリケーションの規制や端末状況の把握、インストールアプリの規制を遠隔で行い、 各種トラブルを未然に防止できる管理体制

◇一人一台の端末導入

国の方針でもある、児童生徒一人一台の端末の導入

機器導入予定台数

タブレット端末の配置については、中学校は、生徒端末を813台、教師用端末を83台の計896台、小学校では、各校の最大学年児童数分の端末344台、教師用端末80台の計424台の導入を予定しています。

小中学校合わせて1,320台のタブレット端末の導入を行う予定です。

対馬市方式の電子黒板



電子黒板に代わるシステムとして、校務用PCやタブレット、スマートフォンの情報をプロジェクターや、テレビに投影するシステムを導入いたします。

システムをコンパクト化することで、設置場所を選ばない多方面での利用が可能で、機動性に優れたシステムです。

(活用例)

スマートフォンやタブレットで撮影した動植物や板書、ノート、図鑑、新聞、雑誌等の画像を、そのまま教材としてプロジェクター等に投影でき、手書き情報までオーバーラップすることができます。

キーボードで入力したテキストデータだけではなく、撮影するだけで素早く教材とすることができ 事務効率の軽減も図れます。

宿題は児童生徒のノート等を撮影させ、映像として提出させることが可能です。 パソコンが苦手な教師でも、映像を撮るだけでICTを活用することができます。 英語のスピーチでも音声録音や画像録画をすることで、発音(ロ形)確認が可能です。 スカイプ等を使った遠隔授業も容易となり、コミュニケーションカの向上につながります。 映像や画像をつなげれば、プレゼンテーションのでき上がりです。

対馬市ICT教育

基本的な考え方

目標

21世紀にふさわしい学びの実現に向けて、教育分野におけるICTの有効活用を積極的に推進することで、主体的・対話的で深い学びの実現に資するとともに、教育の質を向上させる。

方 針

教科指導におけるICT機器の活用と体系的な情報教育の推進

◇情報活用の実践力

課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に 収集・処理・表現・判断・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を育 むことを目指します。

◇情報の科学的な理解

情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解ができる児童生徒の育成を目指します。

◇情報社会に参画する態度

社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画 しようとする態度を身につけた児童生徒の育成を目指します。

教科指導におけるICT機器の活用と体系的な情報教育の推進

情報活用の実践力

情報の科学的な理解

情報社会に参画する態度

雞知中学校增築計画 (予算要求中)

現在、雞知中学校には167名の生徒が在籍して、普通学級6教室、 特別支援学級2教室の合計8教室を開設しています。

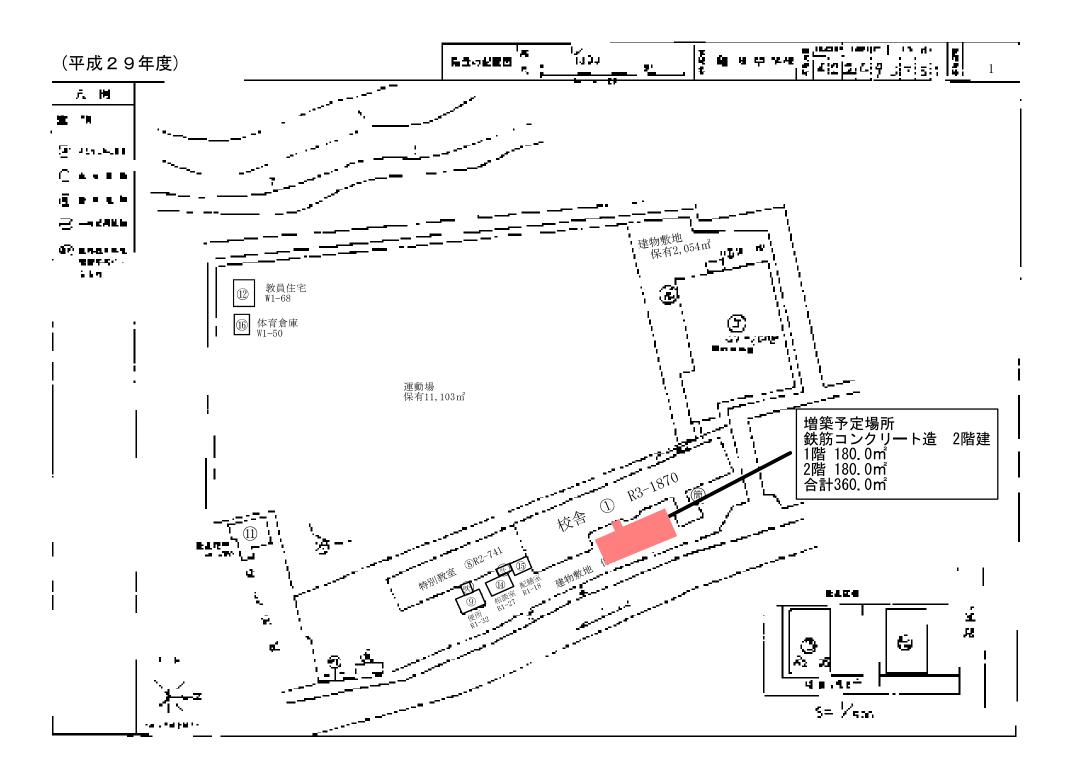
雞知小学校及び今里小学校の4年生が79人在籍しており、3年後の平成32年4月には雞知中学校に入学し、1年生の普通学級が3教室編成になります。また、特別支援学級を新たに2教室増設する見込でり、余裕教室がないため、事前に特別支援教室棟を増築するものです。

くスケジュール案>

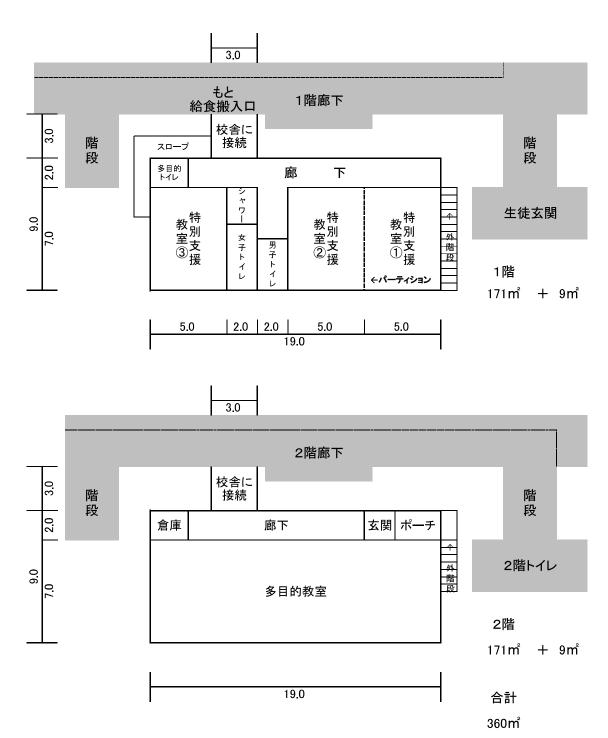
年月	建設計画
平成 29 年度中旬	• 設計 • 地質調査契約、地質調査完了
平成 29 年度下旬	■設計書完成
平成 30 年度初旬	• 増築工事、監理委託公告
平成 30 年度中旬	■ 増築工事、監理委託契約締結、工事開始
平成 31 年度 12 月	• 増築工事完成予定
平成 32 年度 4月	■ 新1年生3学級入学

概算工事費総額は約2億円で、30~31年度の2ヵ年で建設します。

※文部科学省の「学校施設整備費負担金」の補助を受けて実施します。



雞知中学校增築予定図(案)



- ・鉄筋コンクリート2階建て シャワー室は共同で使用するので、出入口を特別支援教室③と廊下側に設ける。
- ・据え付け備品 特別支援教室3教室にエアコン設置 黒板、ロッカー、洗面台 教室にはLAN端子 校内放送スピーカー